

---

---

芦屋市の地域に関するアンケート  
(中学2年生・高校2年生相当の方向け)  
結果報告書 (案)

---

---

令和8年(2026年)2月

芦屋市

# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的.....	2
2	調査の方法.....	2
3	回収状況.....	2
4	報告書の見方.....	2
5	調査結果の概要.....	3
<b>II</b>	<b>調査の結果</b> .....	<b>5</b>
(1)	居住中学校区.....	6
(2)	性別.....	7
(3)	教育段階.....	8
(4)	近所の大人との付き合いの程度.....	9
(5)	地域の活動への参加.....	11
(6)	地域の活動に参加したきっかけ.....	13
(7)	地域の活動に興味や関心を持つために必要なこと.....	15
(8)	住んでいる地域について.....	17
<b>III</b>	<b>自由意見一覧</b> .....	<b>28</b>
(9)	芦屋市の未来について.....	29
<b>IV</b>	<b>アンケート調査票</b> .....	<b>34</b>

---

# I 調査の概要

---

## 1 調査の目的

令和9年度（2027年度）からの「第5次芦屋市地域福祉計画」の策定にあたり、若者層の意見を聴取し、施策検討の基礎資料とするため、本市にお住まいの中学2年生、高校2年生相当の市民を対象に、地域福祉に関するご意見をおうかがいしたものです。

## 2 調査の方法

- (1) 調査地域  
芦屋市内全域
- (2) 調査対象および標本抽出方法  
市内在住の中学2年生・高校2年生相当の市民1,714人
- (3) 調査方法  
アンケート案内ハガキを郵送、インターネットによる回答
- (4) 調査期間  
令和7年（2025年）9月4日～9月25日

## 3 回収状況

対象者数	1,714件
有効配布数	1,713件 ※不着1件
有効回収数	274件
有効回収率	16.0%

## 4 報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、単一回答でも回答比率の合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (2) 回答者数（n）が少ない場合は、統計的に有意でなく、結果の利用に注意が必要です。
- (3) 図表において、紙面の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。
- (4) クロス集計では、無回答及び集計母数の少ない属性を除いて表示しているため、全体数のn値と属性ごとの回答数の合計が一致しない場合があります。

## 5 調査結果の概要

### (1) 居住中学校区、(2) 性別、(3) 教育段階

回答者の居住中学校区は、概ね実際の各校区の人口に近似しています。

性別は女性が約9ポイント上回っています。教育段階は中学生・高校生は概ね各半数程度ですが、中学生が約7ポイント上回っています。

### (4) 近所の大人との付き合いの程度

近所付き合いの程度は、あいさつをする程度が約6割と最も多く、話ができたり助けてもらえたりする付き合いをしている人は2割程度にとどまっています。近所付き合いの程度は中学校区による差がみられ、潮見中学校区では、話ができたり助けてもらえたりする付き合いをしている人が4割を超え、比較的多くなっています。

### (5) 地域の活動への参加

地域のお祭りやイベントへの参加が6割を超え最も多くなっていますが、次いで「参加したことはない」が約3割あり、地域の清掃・防災活動への参加は各々2割弱となっています。

中学校区別にみると、「参加したことはない」が山手中学校区では4割弱と多くなっています。

### (6) 地域の活動に参加したきっかけ

「家族・友達などから誘われた」が約6割と最も多くなっています。「インターネットやSNSで知った」人の割合は、学校からのお知らせや地域の掲示板で知った人の割合よりも低く、わずか2.0%に留まっています。

中学校区別にみると、精道中学校区、山手中学校区では、「学校からのお知らせがあった」が2～3割と比較的多く、教育段階別にみると、「地域の掲示板などで知った」は中学生の方が高校生より10ポイント程度多い結果となりました。

### (7) 地域の活動に興味や関心を持つために必要なこと

自由記述での回答は、掲示板やポスター・チラシ、SNSを活用して広報を強化する意見が多く上がりました。告知の内容として、具体的な活動のほか、若者世代に訴求する魅力の発信が必要との意見がありました。

### (8) 住んでいる地域について

「住民同士の仲が良く、お互いによく知っている」「親切な人が多い」「参加したい地域の活動や行事がある」「高齢者や障がいのある人が暮らしやすい」「こども（自分たち）が暮らしやすい」の項目について印象を聞きました。「とてもそう思う」「ややそう思う」の肯定的な回答は、「親切な人が多い」と「こども（自分たち）が暮らしやすい」では6～7割に達しましたが、その他の項目の割合は半数以下でした。

特に「参加したい地域の活動や行事がある」は4割弱で最も低い割合でした。

(9) 芦屋市の未来について

芦屋市の未来への思いやアイデアを問う自由記述での回答では、住みやすさや過ごしやすさ、安全・安心な生活環境の維持を求める意見が多くありました。その他、若者が楽しめる場の充実や、学校や教育環境への要望に関する意見もみられました。

---

## II 調査の結果

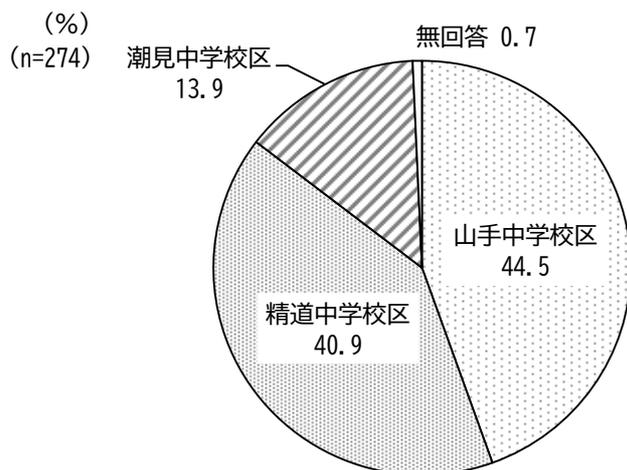
---

## (1) 居住中学校区

問1 あなたが住んでいる町を教えてください。

### 【全体】

「山手中学校区」が44.5%で最も多く、次いで「精道中学校区」が40.9%、「潮見中学校区」が13.9%となっています。



### 【教育段階別】

中学生・高校生ともに「山手中学校区」の割合が多くなっています。「山手中学校区」「潮見中学校区」では高校生、「精道中学校区」では中学生の回答が多くなっています。

		n	山手 中学校 区	精道 中学校 区	潮見 中学校 区	無 回 答
全体		274	44.5	40.9	13.9	0.7
教育 段階	中学生	146	43.8	43.2	11.6	1.4
	高校生	126	45.2	38.1	16.7	0.0

### 【参考：中学校区別回答状況】

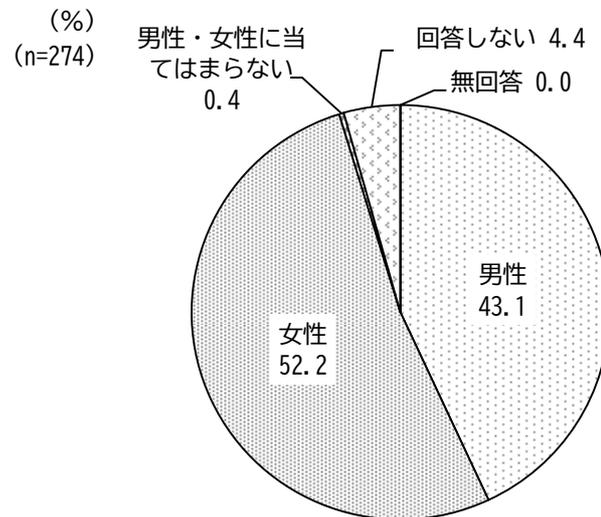
中学校区	母集団		回答者	
	実数	比率	実数	比率
山手中学校区	831	48.5	122	44.5
精道中学校区	568	33.1	112	40.9
潮見中学校区	315	18.4	38	13.9
無回答	—	—	2	0.7
合計	1,714	100.0	274	100.0

※母集団は令和7年9月1日現在。

## (2) 性別

問2 あなたの性別は、以下のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

「女性」が52.2%、「男性」が43.1%で女性の回答が多くなっています。

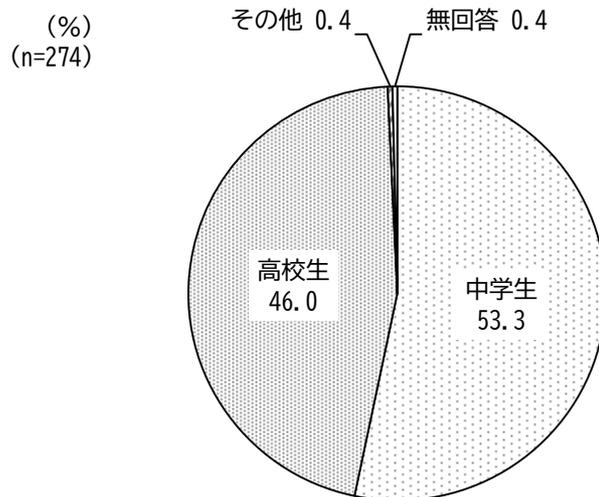


### (3) 教育段階

問3 あなたは、以下のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

#### 【全体】

「中学生」が53.3%、「高校生」が46.0%となっています。



#### 【性別】

中学生で「男性」の割合が55.1%、高校生で「女性」の割合が50.3%となっています。

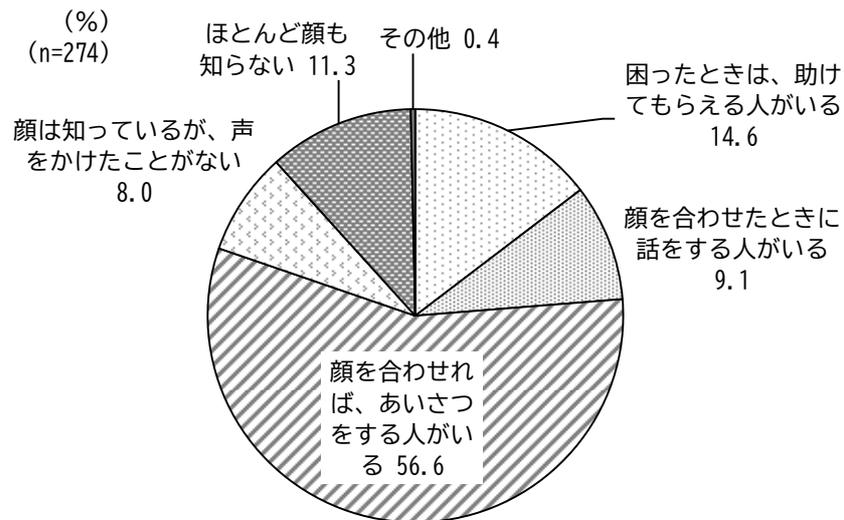
		n	中学生 (%)	高校生 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		274	53.3	46.0	0.4	0.4
性別	男性	118	55.1	44.1	0.0	0.8
	女性	143	49.7	50.3	0.0	0.0

#### (4) 近所の大人との付き合いの程度

問4 ふだん、近所の大人とどれくらい接していますか。(○は1つだけ)

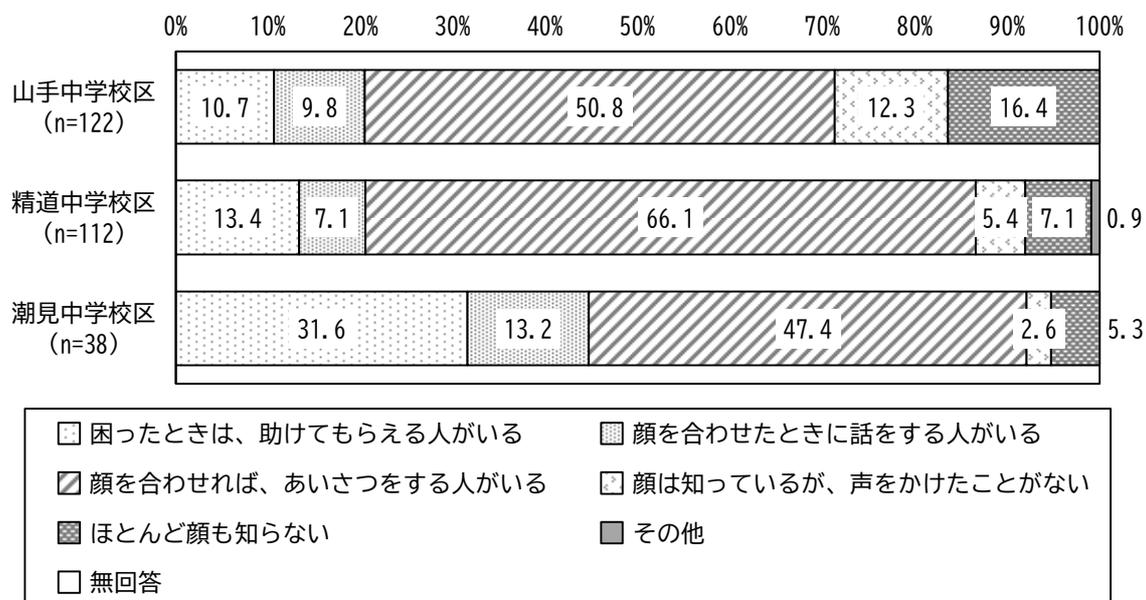
##### 【全体】

「顔を合わせれば、あいさつをする人がいる」が 56.6%と最も多く、次いで「困ったときは、助けてもらえる人がいる」が 14.6%となっています。「ほとんど顔も知らない」「顔は知っているが、声をかけたことがない」を合わせると 19.3%となります。



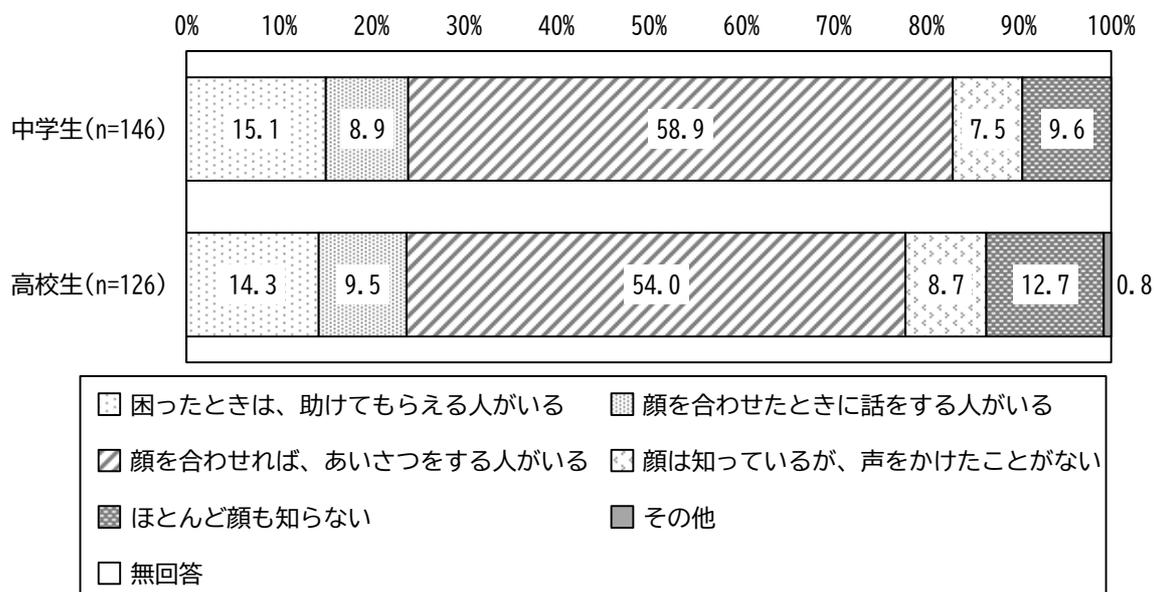
### 【中学校区別】

いずれの中学校区でも「顔を合わせれば、あいさつをする人がいる」が最も多くなっていますが、潮見中学校区では「困ったときは、助けてもらえる人がいる」の割合が3割を超えて比較的多くなっています。一方、山手中学校区では、「顔は知っているが、声をかけたことがない」「ほとんど顔も知らない」が合わせて3割弱と比較的多くなっています。



### 【教育段階別】

中学生、高校生ともに、「顔を合わせれば、あいさつをする人がいる」が最も多くなっています。高校生では、「顔は知っているが、声をかけたことがない」「ほとんど顔も知らない」が中学生よりやや多くなっています。

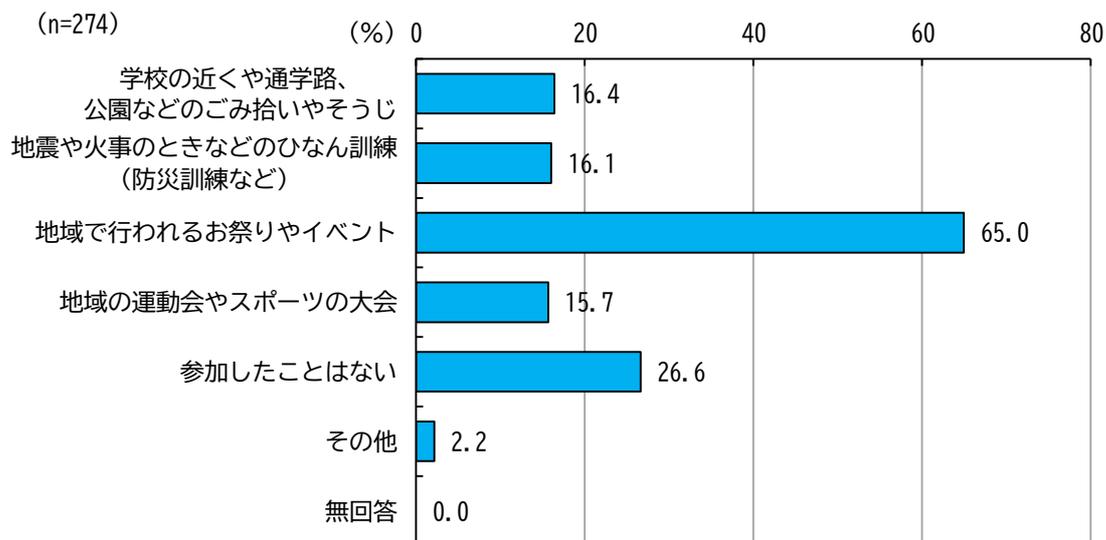


## (5) 地域の活動への参加

問5 どのような地域の活動に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

### 【全体】

「地域で行われるお祭りやイベント」が65.0%と最も多くなっています。次いで、「参加したことはない」が26.6%となっています。



### 【中学校区別】

「地域で行われるお祭りやイベント」はいずれの中学校区でも5割を超え、とりわけ潮見中学校区では8割弱の参加経験があります。一方、山手中学校区では「参加したことはない」の割合が4割弱と比較的多く、「学校の近くや通学路、公園などのごみ拾いやそうじ」「地域の運動会やスポーツの大会」への参加は1割未満となっています。

		n	(%)						
			学校の近くや通学路、公園などのごみ拾いやそうじ	地震や火事のときなどの訓練など	地域で行われるお祭りやイベント	地域の運動会やスポーツの大会	参加したことはない	その他	無回答
全体		274	16.4	16.1	65.0	15.7	26.6	2.2	0.0
中学校区	山手中学校区	122	5.7	12.3	55.7	8.2	37.7	1.6	0.0
	精道中学校区	112	24.1	18.8	69.6	21.4	19.6	3.6	0.0
	潮見中学校区	38	28.9	21.1	78.9	21.1	13.2	0.0	0.0

### 【教育段階別】

中学生、高校生ともに、「地域で行われるお祭りやイベント」が6～7割と多くなっています。参加する活動内容に教育段階による大きな違いは見られません。

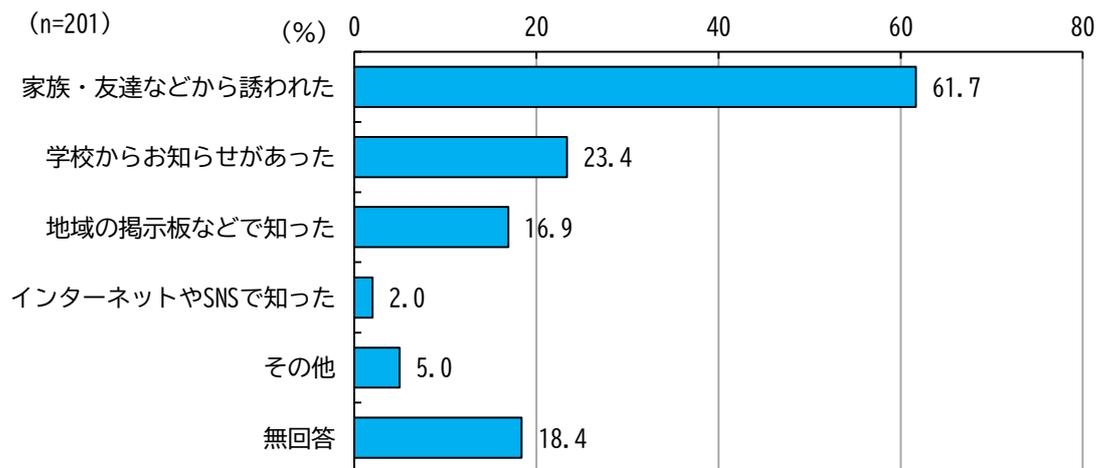
		n	(%)						
			学校の近くや通学路、公園などのごみ拾いやそうじ	地震や火事のときなどの訓練など	地域で行われるお祭りやイベント	地域の運動会やスポーツの大会	参加したことはない	その他	無回答
全体		274	16.4	16.1	65.0	15.7	26.6	2.2	0.0
教育段階	中学生	146	15.8	15.8	69.2	14.4	24.0	2.1	0.0
	高校生	126	17.5	16.7	61.1	17.5	28.6	2.4	0.0

## (6) 地域の活動に参加したきっかけ

問6 問5で「参加したことはない」以外を選んだ方におたずねします。  
地域の活動に参加したきっかけはなんですか。(〇はいくつでも)

### 【全体】

「家族・友達などから誘われた」が 61.7%と最も多く、次いで「学校からお知らせがあった」が 23.4%、「地域の掲示板などで知った」が 16.9%となっています。一方、「インターネットやSNSで知った」の回答は 2.0%にとどまっています。



### 【中学校区別】

いずれの中学校区でも「家族・友達などから誘われた」が5割以上を示しています。その他の項目では精道中学校区、山手中学校区で「学校からお知らせがあった」の割合が比較的多くなっています。

		(%)							
		n	か家族誘われたなど	あ学校からお知らせがあった	知地域の掲示板などで知った	S SNSで知った	インターネット	その他	無回答
全体		201	61.7	23.4	16.9	2.0	5.0	18.4	
中学校区	山手中学校区	76	56.6	21.1	18.4	1.3	7.9	18.4	
	精道中学校区	90	66.7	30.0	14.4	2.2	3.3	15.6	
	潮見中学校区	33	63.6	9.1	18.2	3.0	3.0	24.2	

### 【教育段階別】

中学生、高校生ともに、「家族・友達などから誘われた」が5割以上を示しています。また、中学生では、「地域の掲示板などで知った」が高校生より10ポイント程度多くなっています。

		(%)							
		n	か家族誘われたなど	あ学校からお知らせがあった	知地域の掲示板などで知った	S SNSで知った	インターネット	その他	無回答
全体		201	61.7	23.4	16.9	2.0	5.0	18.4	
教育段階	中学生	111	64.0	25.2	21.6	3.6	3.6	17.1	
	高校生	90	58.9	21.1	11.1	0.0	6.7	20.0	

(7) 地域の活動に興味や関心を持つために必要なこと

問7 あなたや周りの友達が地域の活動に興味や関心を持つために必要なことは何だと思えますか。  
あなたの意見やアイデアがあれば教えて下さい。(自由記述)

「地域の活動に興味や関心を持つために必要なこと」について、144人から回答がありました。  
内容別に分類したところ、「広報の強化（掲示板・ポスター・チラシ等の活用）」(26件)に関する意見が最も多く、広報の方法として「SNSの活用・発信」に関する意見が18件ありました。若者世代が主体となり、魅力を感じる、「若者世代にアピールするイベント」を望む意見も18件でした。  
なお、複数の分類に該当する場合は、それぞれに計上しているため、回答数と各意見の合計数は一致しません。

※意見は主なものを抜粋しています。

分類	件数
広報の強化（掲示板・ポスター・チラシ等の活用）	26
ポスター・チラシ等で具体的な内容を告知する。(7人)	
もっと積極的に宣伝する。広告を増やして人の目に留まるようにする。(5人)	
掲示板をもっと活用、目立つようにする。(5人)	
駅や通学路（祭りの時の神社の幟のように）などでの宣伝。(3人)	
ポスターだけでなく様々な形で情報を発信。	
若い人に人気のキャラクターの利用。	
SNSの活用・発信	18
SNS（インスタグラム等）の活用。(14人)	
芦屋市の行事予定を知らせるアプリを作る。	
LINEの公式アカウントを活用。	
若者世代にアピールするイベント	18
若い世代に受けそうな、若者が興味をひきそうなイベント作り。(8人)	
若者に人気な何か（キャラクター等）とのコラボ。(2人)	
中高生をメインとした店やイベントを作る。	
運営に中高生が参加する。	
芦屋川で小さな袋にゴミを集める大会。小学生が参加しピンセットで拾って集める量を競う。	
報酬・参加賞・景品をつける	16
報酬・参加賞・景品をつける。飲み物、お菓子、図書カードなど。(14人)	
地域の活動をバイト化することで高校生が集まる。(2人)	
学校での周知・学校との連携	13
学校でPR活動。プリント・ハガキ等を配って告知する。(6人)	
学校で実施のイベント、課外授業等、学校で体験する機会を作る。(3人)	
学校での授業で地域や地域活動について触れる。(2人)	

活動の内容・魅力を伝える	9
活動の面白さをもっと伝える。(3人)	
活動の具体例を伝える。(2人)	
活動の意義を公表し、重大性や楽しさを発信する。	
友達と参加	4
友達同士で誘い合って参加できる楽しいイベント。(4人)	
その他	45
応募のしやすさ、場所・時間の参加しやすさ。(3人)	
スポーツなどの活動も取り入れる。(2人)	
駅など、みんながよく通るところで活動をする。	
芦屋市の現状を広く知ってもらい自分の事のように考えるようにさせる。	
もっと意義を感じさせる活動内容。	
災害時などの緊急時にどんなメリットがあるのかを伝える。地域のまとまりがないことによる影響を伝える。	
中高生が市長に政策提言ができる場があれば参加してみたい。	
インターンやボランティアができる場が整っている。	
総合型選抜に役立つような活動。	
ツアー(無料)のようにして地域の場所を回ったりすればいい。	
このようなアンケートを大人も子どもも積極的に行うこと。	
普段関わらない方々との関わりがあること。	
知り合いがいないと行きにくいので、独りぼっちにならないような地域活動を考える。	
市外の小中学校に通っているの、コミュニティが生まれるような場を作れば、情報共有をして興味をもてる。	
私立の学校に通っているため、近所に親しくしている同年代の子がいない。インターネット上の活動など、近所の対人関係があまり関係ない活動が必要。	
六麓荘町に公園があれば、人がつながりやすい状況が生まれる。	

## (8) 住んでいる地域について

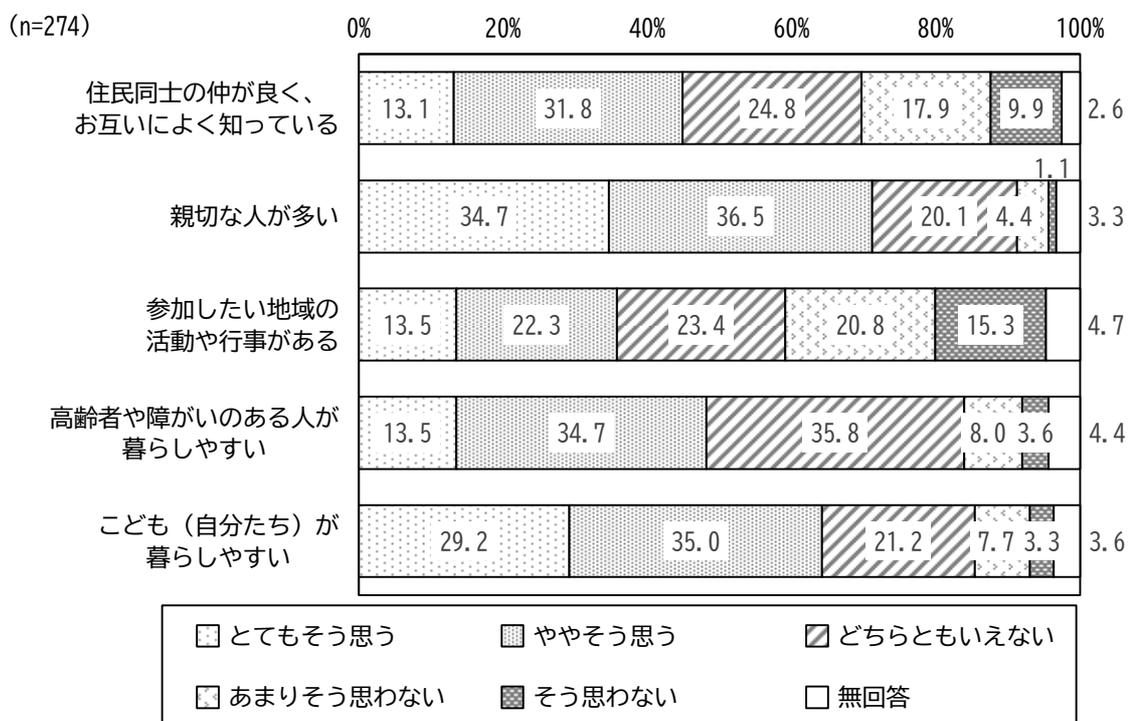
問8 住んでいる地域について、あなたの感じていることを教えてください。

(それぞれの項目について1つだけ○)

### 【全体】

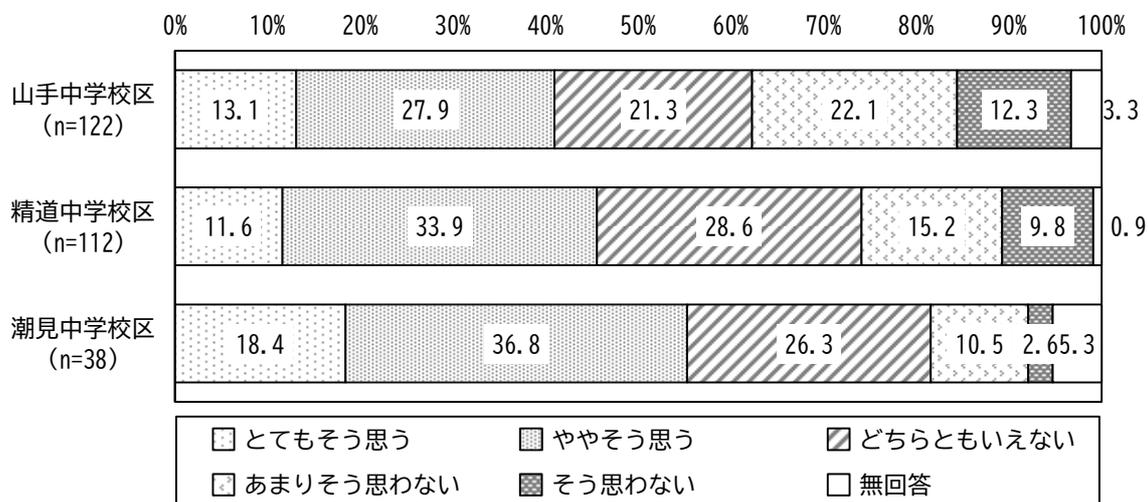
住んでいる地域について、「とてもそう思う」「ややそう思う」と感じている人が多い選択肢を見ると、「親切な人が多い」が71.2%と最も多く、次いで「子ども（自分たち）が暮らしやすい」が64.2%となっています。「高齢者や障がいのある人が暮らしやすい」と感じている人も48.2%となっていますが、一方で、「どちらともいえない」という意見も35.8%と比較的多い割合を占めています。

次に、「あまりそう思わない」「そう思わない」と感じている人が多い選択肢を見てみると、「参加したい地域の活動や行事がある」が36.1%で最も多く、次いで「住民同士の仲が良く、お互いによく知っている」が27.8%となっています。



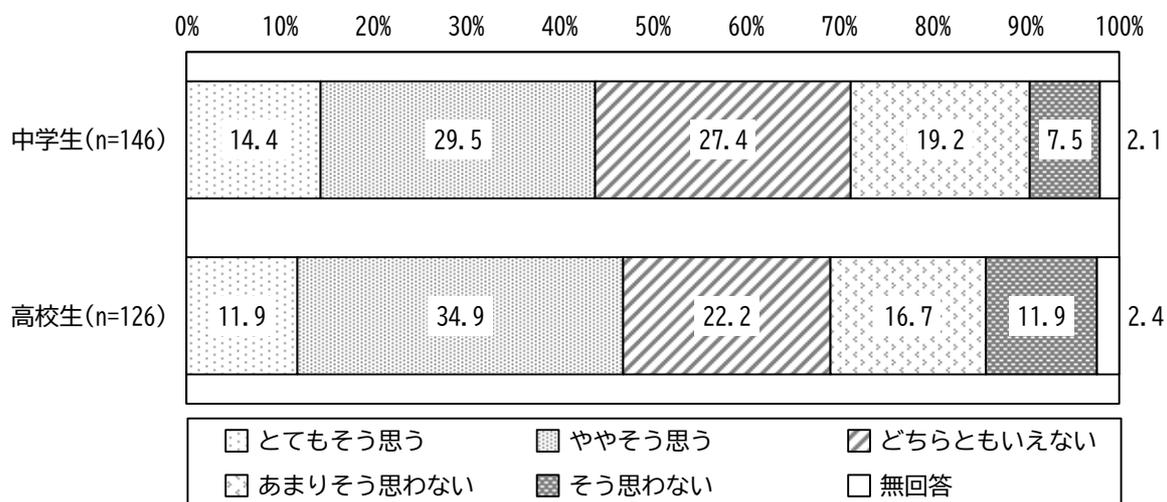
### 【「住民同士の仲が良く、お互いによく知っている」と中学校区とのクロス集計】

潮見中学校区では「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が5割以上と比較的多くなっています。一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計は、山手中学校区で3割以上と比較的多くなっています。



### 【「住民同士の仲が良く、お互いによく知っている」と教育段階別とのクロス集計】

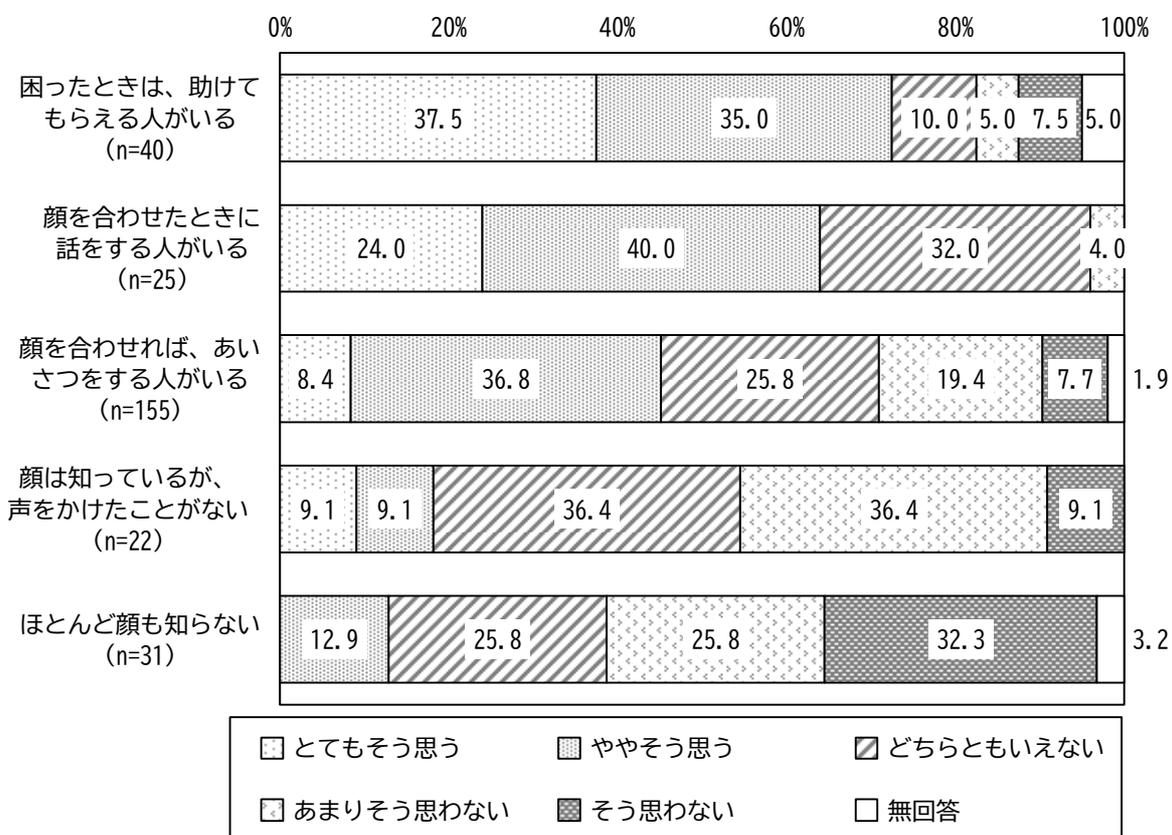
中学生、高校生ともに「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が4割強となっています。中学生で「どちらともいえない」、高校生で「ややそう思う」と感じている人が比較的多くなっています。



【「住民同士の仲が良く、お互いによく知っている」と近所の大人との付き合いの程度（問4）とのクロス集計】

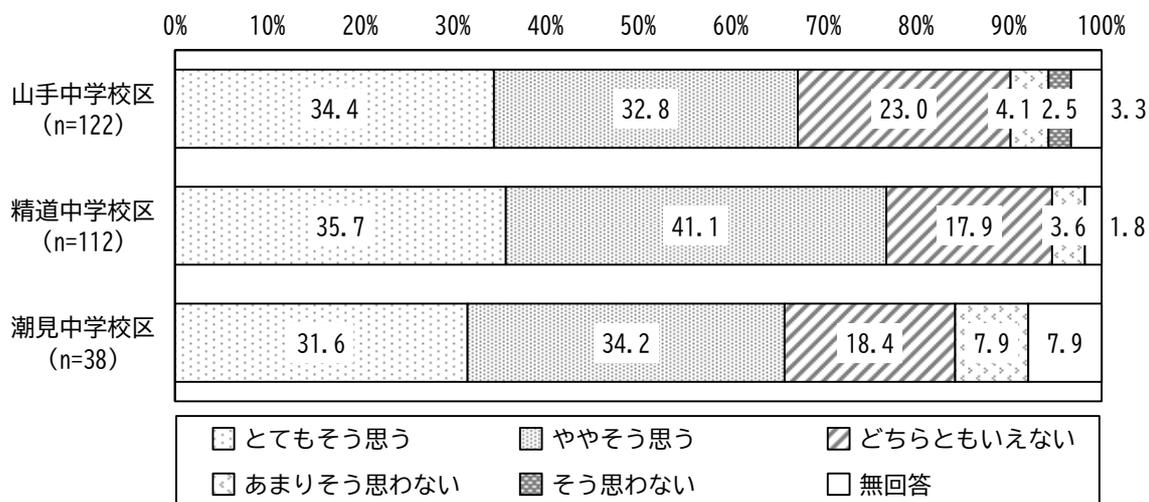
「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計は、「困ったときは、助けてもらえる人がいる」が最も多く 72.5%となっており、最も低い「ほとんど顔も知らない」と約 60 ポイントの差があります。近所の大人との関係性が薄れるに従って「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計は減少していくことから、近所の大人との付き合いの程度の深さと、住民同士の関係の良好な印象には関連があると考えられます。

また、「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計は「顔を合わせれば、あいさつをする人がいる」が 45.2%となっています。一方、「顔は知っているが、声をかけたことがない」では 18.2%と、27 ポイントの差があります。あいさつをしているか、していないかで、「とてもそう思う」「ややそう思う」の割合の差が比較的大きく、あいさつと住民同士の良好な関係性には関連があると考えられます。



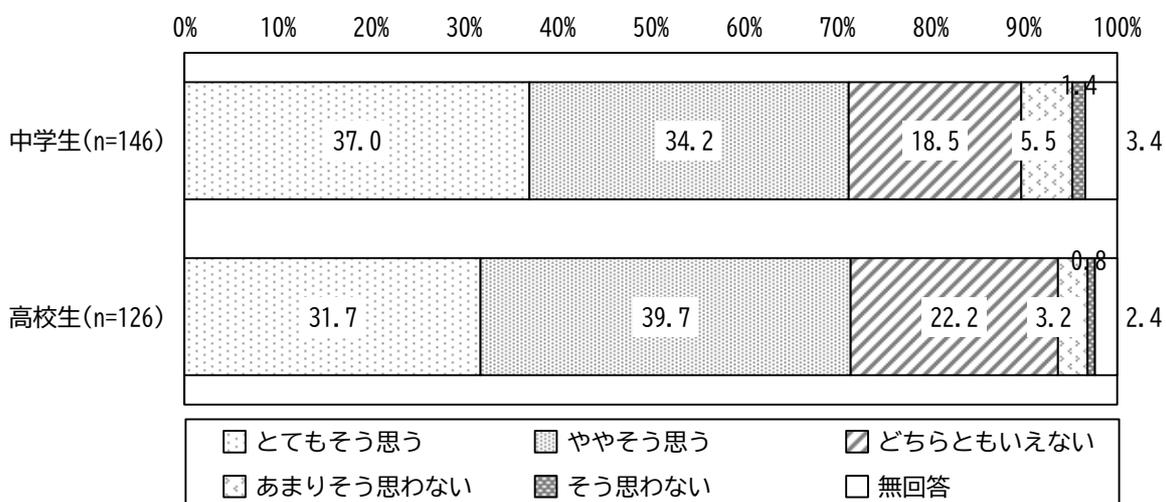
### 【「親切な人が多い」と中学校区とのクロス集計】

「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計はすべての中学校区で6割を超えており、特に精道中学校区では、76.8%と多くなっています。



### 【「親切な人が多い」と教育段階別とのクロス集計】

中学生、高校生ともに「とてもそう思う」「ややそう思う」の割合が7割以上と多くなっていますが、高校生では「どちらともいえない」が2割を超え、比較的多くなっています。

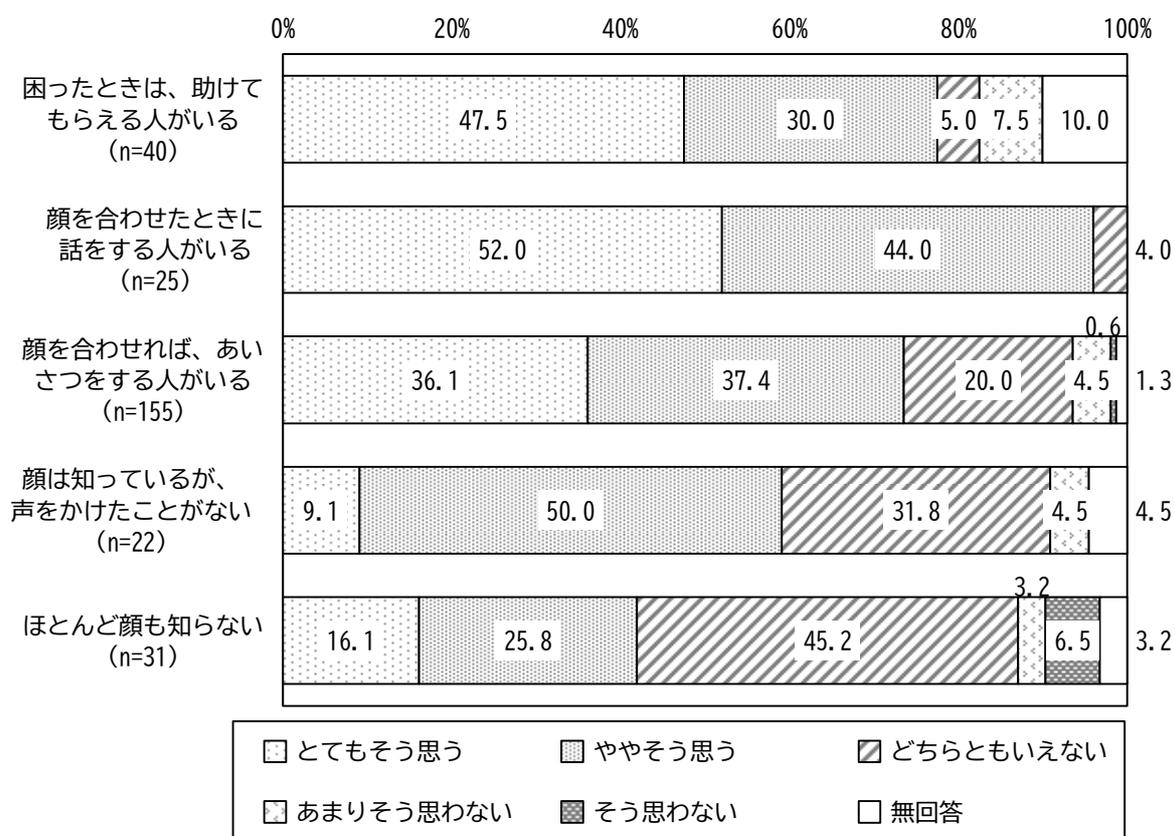


【「親切な人が多い」と近所の大人との付き合いの程度（問4）とのクロス集計】

「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計は、「困ったときは、助けてもらえる人がいる」で 77.5%、「顔を合わせたときに話をする人がいる」と答えた人では 96.0%、「顔を合わせれば、あいさつをする人がいる」と答えた人では 73.5%となっており、この三属性においては、大人との付き合いの程度と「親切な人が多い」という印象との間に相関関係は見られません。

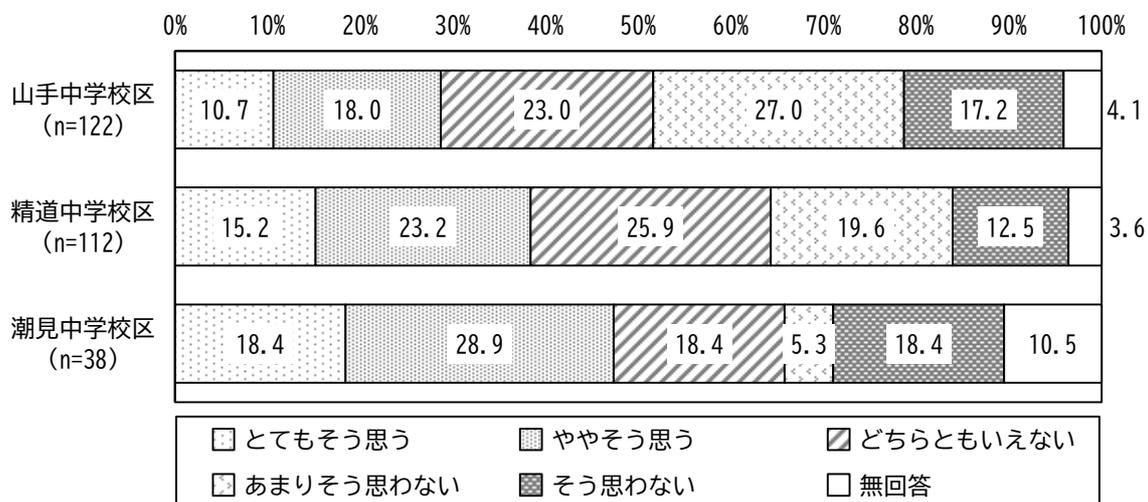
また「ほとんど顔を知らない」人でも、「あまりそう思わない」「そう思わない」と否定的にとらえる人は 8.7%にとどまり、「どちらともいえない」が 45.2%で最も多くなっています。

「親切な人が多い」という印象は、「住民同士の仲が良く、お互いによく知っている」という印象ほどに近所の大人との付き合いの程度との相関関係は見られません。



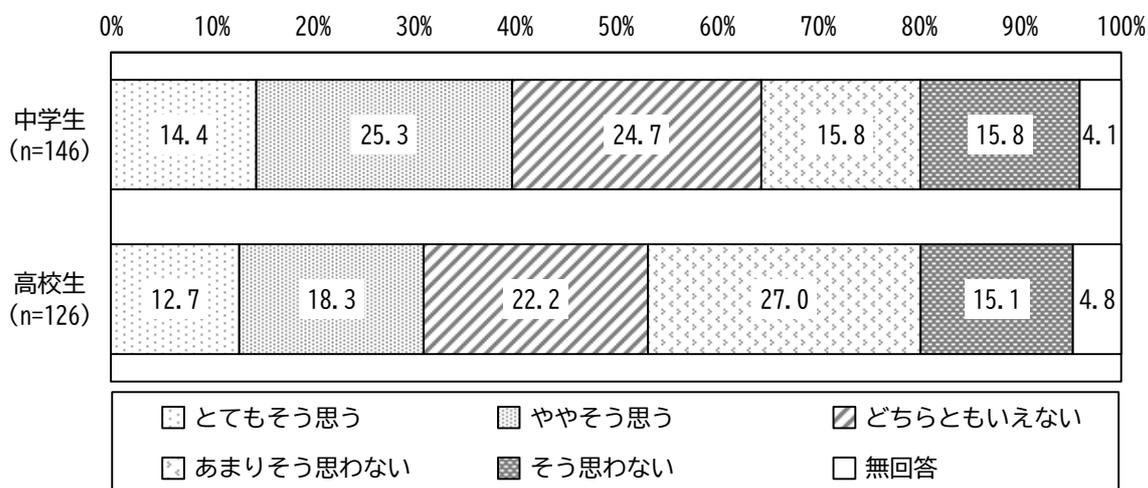
### 【「参加したい地域の活動や行事がある」と中学校区とのクロス集計】

潮見中学校区で「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が5割弱と比較的多くなっています。一方、山手中学校区では「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計が4割を超え、比較的多くなっています。



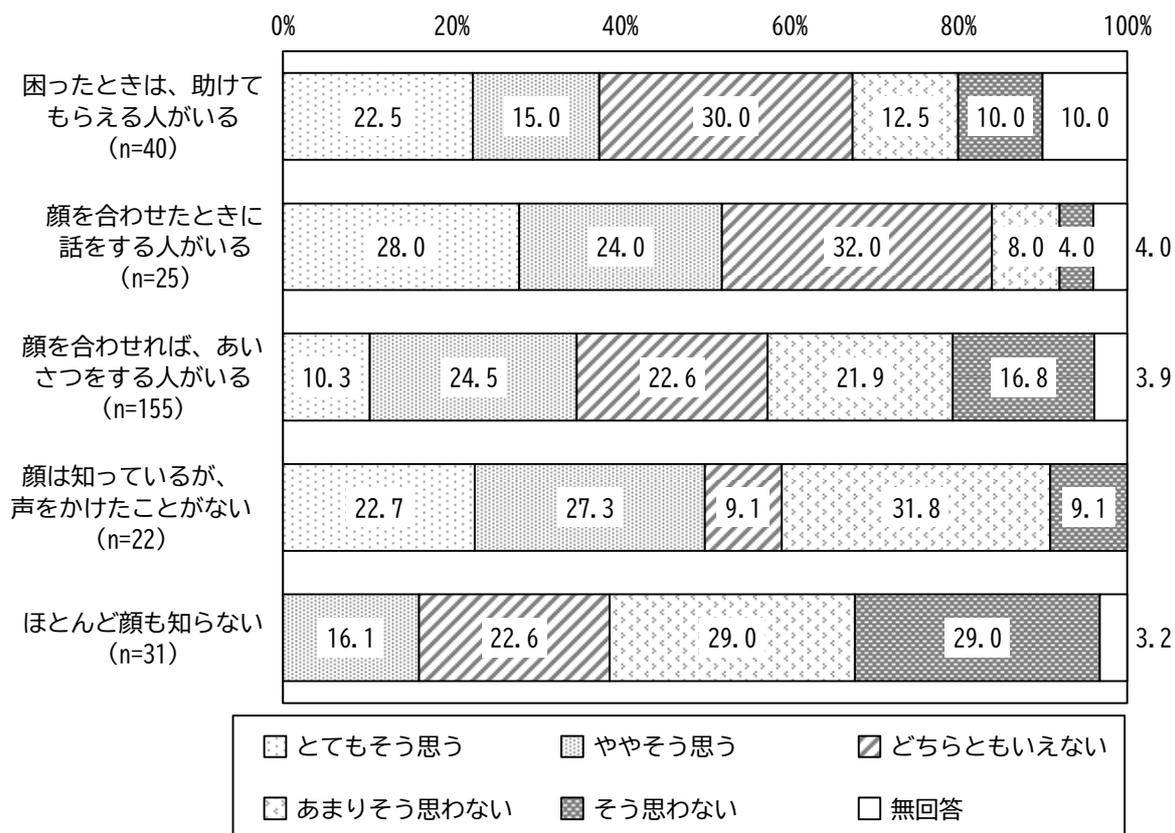
### 【「参加したい地域の活動や行事がある」と教育段階別とのクロス集計】

「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計は高校生で4割を超え、中学生より10ポイント以上多くなっています。



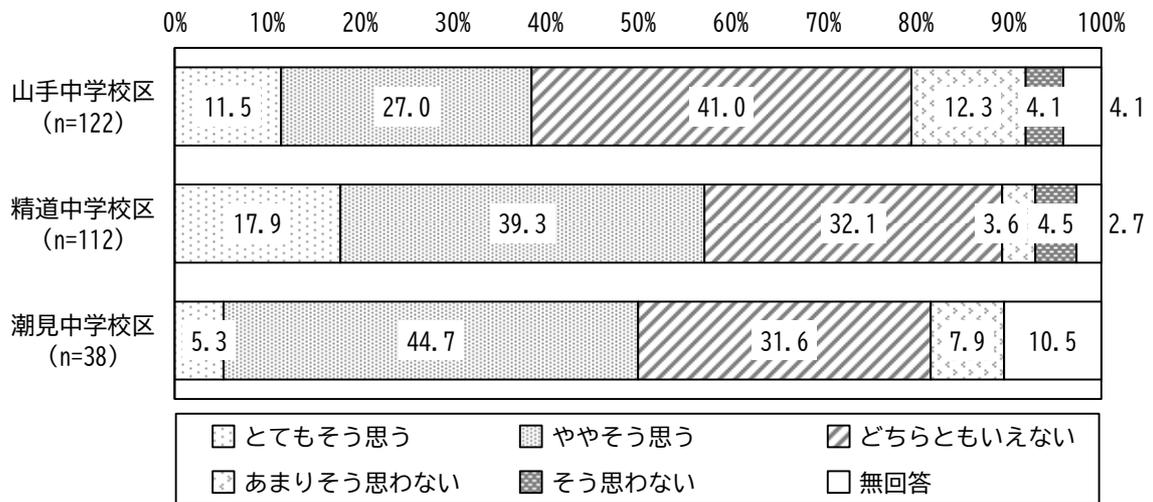
【「参加したい地域の活動や行事がある」と近所の大人との付き合いの程度（問4）とのクロス集計】

「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計は、「困ったときは、助けてもらえる人がいる」「顔を合わせれば、あいさつをする人がいる」と答えた人で35%前後、「顔を合わせたときに話をする人がいる」、「顔は知っているが、声をかけたことがない」と答えた人で5割前後となっており、この四属性については、大人との付き合いの程度と地域活動や行事への印象との間に相関関係はみられません。一方、「ほとんど顔も知らない」と答えた人では、「とてもそう思う」は0%、「そう思う」が16.1%と、他と比較して低くなっていることから、近所の大人との付き合いが非常に希薄であることと、地域活動や行事への参加意欲には関連があると考えられます。



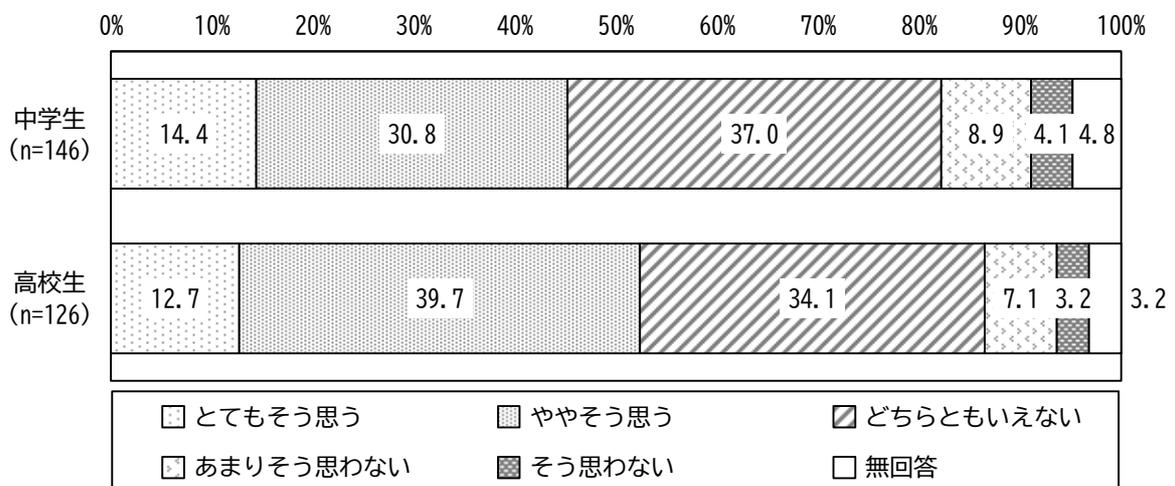
【「高齢者や障がいのある人が暮らしやすい」と中学校区とのクロス集計】

精道中学校区では、「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が5割を超え、比較的多くなっています。一方、山手中学校区では、「どちらともいえない」が約4割と比較的多くなっています。



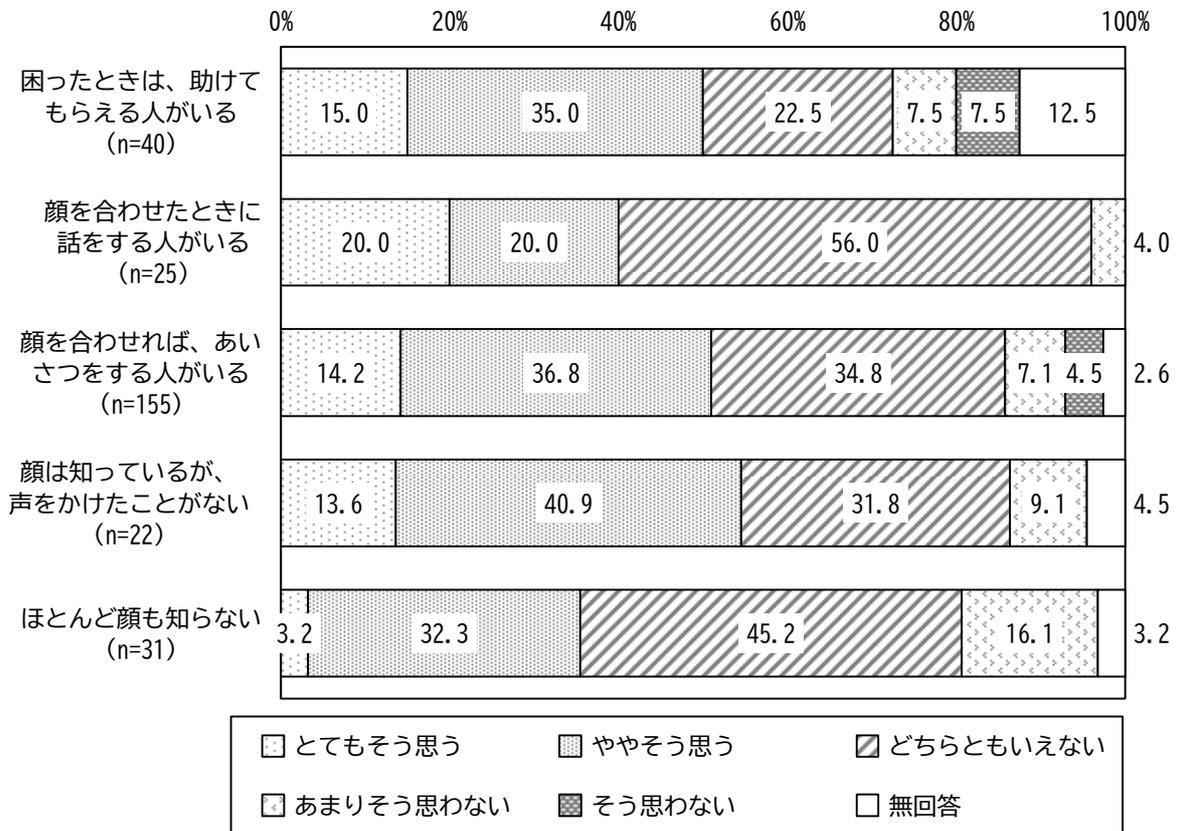
【「高齢者や障がいのある人が暮らしやすい」と教育段階別とのクロス集計】

高校生で「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が5割を超え、比較的多くなっています。



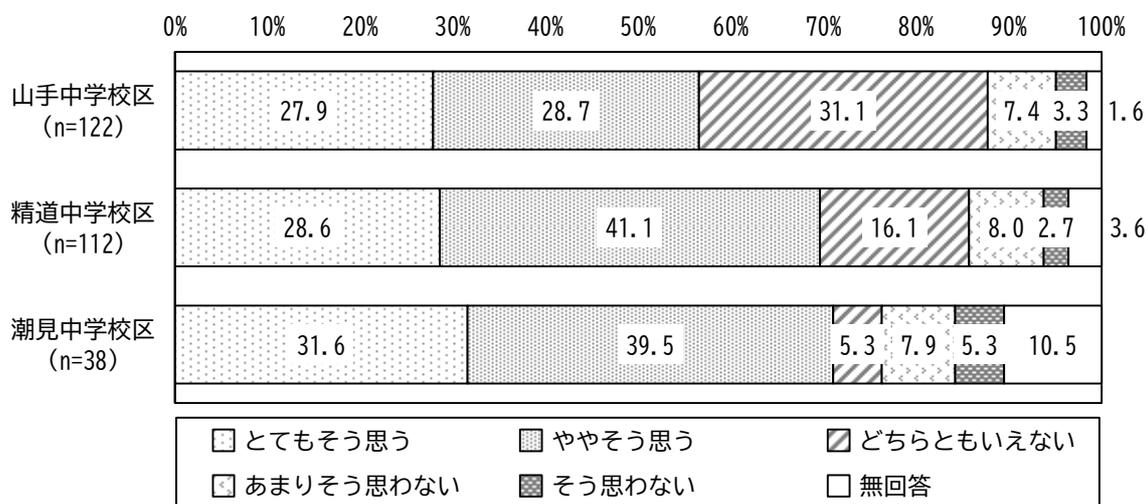
【「高齢者や障がいのある人が暮らしやすい」と近所の大人との付き合いの程度（問4）とのクロス集計】

「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計は、「顔は知っているが、声をかけたことがない」と答えた人で最も多くなっており、近所の大人との付き合いの程度による相関関係はみられません。



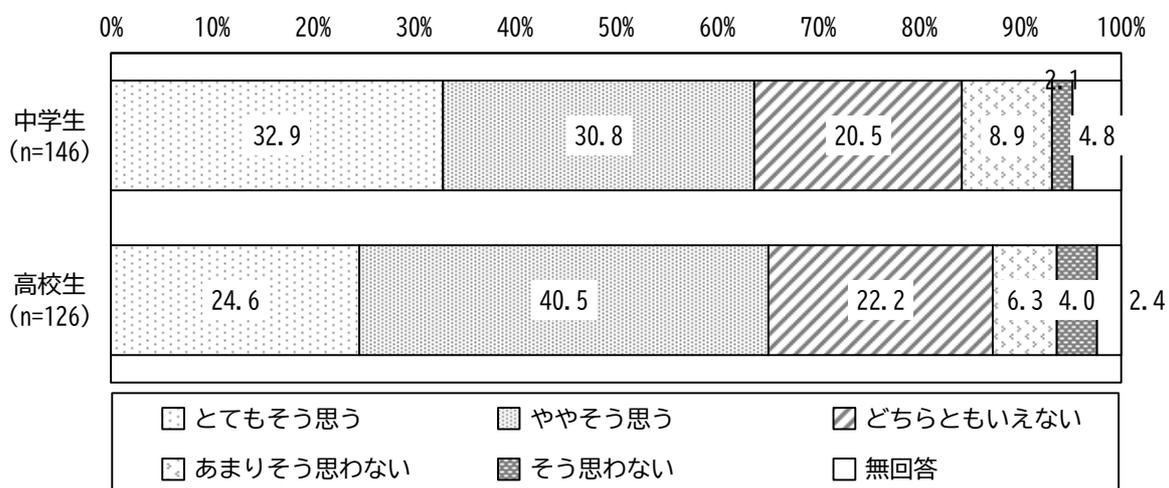
### 【「子ども（自分たち）が暮らしやすい」と中学校区とのクロス集計】

すべての中学校区で「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が5割を超えています。山手中学校区では「どちらともいえない」が3割を超え、比較的多くなっています。



### 【「子ども（自分たち）が暮らしやすい」と教育段階別とのクロス集計】

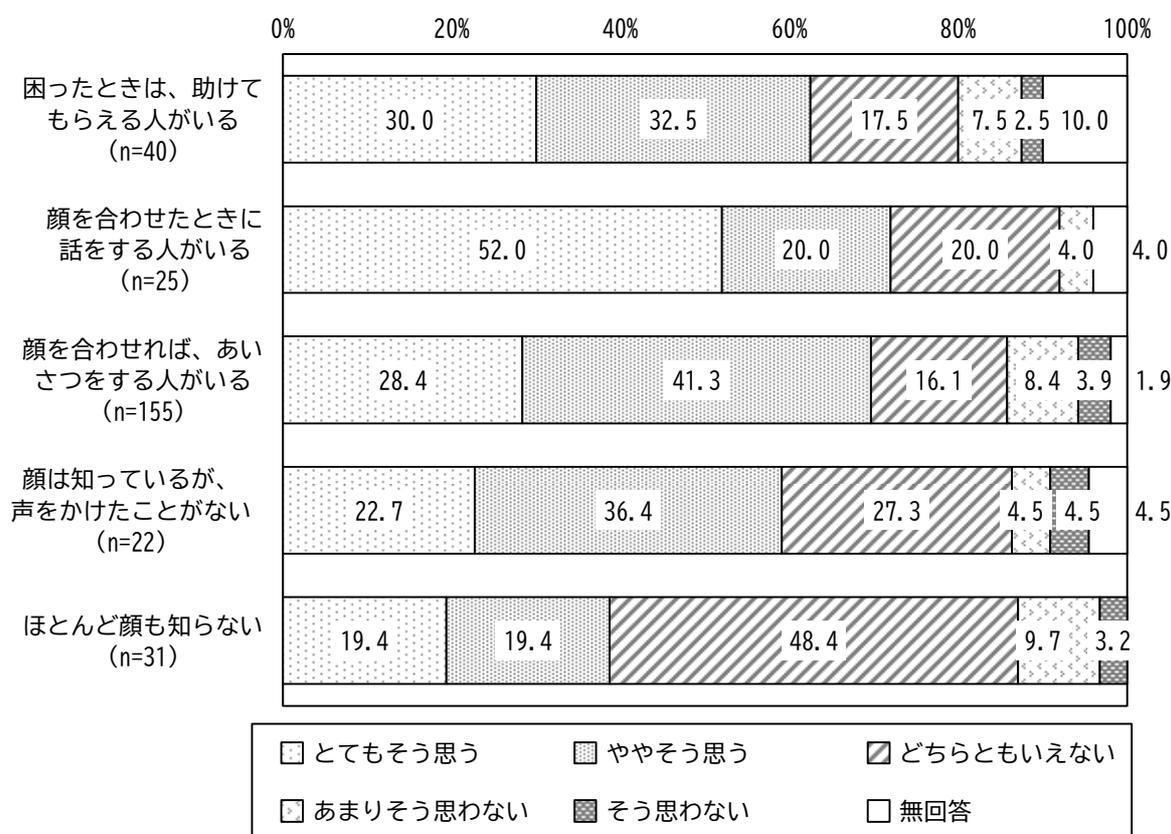
中学生、高校生ともに「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が6割を超えて多くなっています。中学生の方が、「とてもそう思う」の割合がやや多くなっています。



【「子ども（自分たち）が暮らしやすい」と近所の大人との付き合いの程度（問4）とのクロス集計】

「困ったときは、助けてもらえる人がいる」「顔を合わせたときに話をする人がいる」「顔を合わせれば、あいさつをする人がいる」「顔は知っているが、声をかけたことがない」は、「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計はいずれも約6～7割を示し、各属性の割合に大きな差はありません。顔を知っている程度の大人との付き合いがあれば、子ども自身の暮らしやすさへの影響は少ないと考えられます。

一方で、「ほとんど顔も知らない」人の場合、「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計は4割弱と低くなっています。近所の大人との付き合いが非常に希薄な場合は、子ども自身の暮らしやすさにも影響を与えていると考えられます。



---

## Ⅲ 自由意見一覽

---

## (9) 芦屋市の未来について

問9 あなたはどんな芦屋市になってほしいと思いますか。あなたの思いやアイデアを教えてください。

自由記述設問では、181人から回答がありました。内容を分類した結果は下表のとおりです。

誰もが住みやすい・過ごしやすいまちに関して31件、安全・安心なまちについては25件、住民同士の交流については16件の意見がありました。その他では、店舗や娯楽についての要望が27件あり、住みやすさや生活環境の質は維持しつつ、若者が楽しめる場の充実を求める意見が多く上がりました。

なお、複数の意見が書かれている場合は、それぞれに計上しているため、回答数と各意見の合計数は一致しません。

### 【地域福祉に関連する意見】

※意見は主なものを抜粋しています。

分類	件数
誰もが住みやすい・過ごしやすいまち	31件
住みやすく暮らしやすい、過ごしやすい芦屋市。(12人)	
芦屋市に住んでいる人全員が楽しく過ごせる。(3人)	
誰もが住みやすいまち。(3人)	
みんなが住みやすく、若者の活気がある芦屋。	
住民同士の仲が良くて自然豊かでのびのびとした住みやすいまち。	
静かで時に賑やかになれる、暮らしやすい環境の整った芦屋市。	
みんなが笑顔で健康に過ごせるまちになってほしい。	
みんなが楽しく不便なく過ごせるような市になってほしい。色んな世代が楽しめるような施設やイベントなどもあっても良いと思う。	
子どもと大人が互いに暮らしやすくするためにできる範囲での様々な政策を行うといいと思う。例えば、同じ第1学区であるのに神戸市の高校生のみ定期券の無償化が行われているのは疑問に思う。	
地域の良さをみんなが楽しめるようになってほしい。	
音響信号機をさらに増やすと、高齢者や障がいのある人が便利になると思う。また階段しかない道を減らして、できるだけ誰でも通れる道を増やせたら良いと思う。	
どの世代にとっても暮らしやすい市になってほしい。そのために、法整備をして、外国人の流入規制とウィルス等の流行時に素早い授業のオンライン化を望む。	
誰もが自分らしい生活をできる市。	
安全・安心なまち	25件
治安のよい安心して暮らせるまち。(10人)	
市民が安心して暮らせる。(6人)	
安全なまち。(2人)	
犯罪や事件のないまち。(2人)	
事故がない。	

毎朝や下校時に挨拶してくれる地域の方がいるので安心していただける。しかし、通学路の視界の悪さや交通量、車のスピードに関する不安があります。道の安全の確保をお願いしたい。	
生活利便性、治安の良さ、災害の強さがあつたら安心だと思う。	
街灯が少なく、夜遅くに塾から帰ってくる時に怖い。街灯の数を増やしてほしい。	
とにかく安全なまちになってほしい。最近は電車内や街中でも、挙動不審な人がいて怖いと思うことがある。	
住民同士の交流	16件
地域間の交流が盛んなまち。(2人)	
住民同士の関係に希薄さがないまち。	
つながりを大切にする芦屋になってほしい。	
もう少し地域での交流を増やし、こどもに優しい市になれば良いと思う。	
協力し合える市。	
顔を合わせたら挨拶をするような関係を保てる芦屋市。	
挨拶などの何気ない行動を大切にできる人がいる。	
時間がなくても住民同士でコミュニケーションが取れるようなことが何かあつたらいいと思う。	
防災面でも近所の人たちともしっかりと関わりを持てるまち。	
優しい人が増え、心地よい芦屋市になってほしい。	
困っていることをいつでも相談できる芦屋(誰もが過ごしやすい、安心できる)。	
私は色々な人たちと関わることのできる芦屋市にしたい。	
年齢関係なく交流できる場をつくり、いろいろな人と知り合えるようになりたい。	
地域の行事(だんじり等)に参加するなどつながりを大切にしてほしい。	
若い人も高齢者の方も支えあえる芦屋。	
消極的なこどもが多いから、学校の行事の一環で老人ホームへ行くなどの取り組みを行うなど。	
こども・高齢者が住みやすいまち	11件
こどもが生きやすい、こどもにやさしい市になってほしい。医療費を無料にするなど。	
子育てのしやすいまちになってほしい。	
子育てしやすい環境、安心安全な暮らし、日本人を大切にしてほしい。	
こどもを育てることは、神戸市に劣っているように思う。もっと教育の質も上げ、高校には、交通費支給をお願いしたい。	
明石市のように育児のしやすい場所になればいいと思う。私の周りでは新築の一軒家やマンションが増えている一方、保育施設は合体して新しい保育施設を作っていて、少子高齢化を感じさせられる。	
自分が小さい頃から小学校中学年くらいまでは近所の集会所に子育て広場があった。今はなくなってしまっているので、そういう場所が増えたら良いな、と思う。	
地域の高齢者やこどもが無料で乗れるバスなどを走らせ、車がなくても安心して暮らせるまちになってほしい。	
地形的に芦屋は山が多く、車がなく金銭的な理由などでタクシーに乗れない高齢者の方をよく見る。また、兵庫県の政策ではあるが、「はばタン pay」が携帯でしか使えないそうで、高齢者には厳しいと思う。	
高齢者のバス代が高いので祖母が外出を控えている。駅前のバス停が古い。バスもタッチ決済を入れてほしい。	
こどもが増え、高齢者も豊かな心を持てるまちづくりをしてほしい。	

【その他の意見】

※意見は主なものを抜粋しています。

分類	件数
店舗や娯楽の充実	27 件
カラオケなどの放課後に遊べる場所がほしい。(4人)	
もっと娯楽や遊べるところが増えてほしい。(3人)	
若者が遊ぶところが少なく、市外に行っている。(3人)	
本屋がほしい。(2人)	
お店が増えてほしい。(2人)	
芦屋市に大規模商業施設は必要ないけど、駅前に若い人たちが必要とする色々なジャンルのお店がそろってほしい。お店などに不便しない便利さと芦屋の美しい自然、景観、環境を両立させてほしいと思う。	
JR 芦屋駅付近など芦屋の中で栄えているところには住民が楽しめる施設がほしい。芦屋の景観や治安が損なわれるリスクもあるが、今はないカラオケがあるだけで遊びやすくなる。	
駅前に大きな本屋さん、映画館も。西宮ガーデンズの小さいバージョンがあれば楽しい。	
おしゃれな景観も保ちつつ学生の遊び場もほしい。プリクラがとれる場所がほしい。映画館等は小さくてもいいからほしい。	
インターネットの進歩により家から動かずとも手軽にできるゲームが増えているようだ。交通機関の近くの建物に遊べる場所(運動による遊び等以外)があれば多少なりとも外に出る人は増えるのではないかな。	
遊ぶ場所やゲームセンターなどがあつたらいいなと思う。	
特にないけど映画館とか、水族館とかがほしい。	
100 均が家の近くにある。	
カードショップを増やす。	
ご飯屋さんがたくさんある芦屋市。	
お手頃価格のスーパーがほしい。	
親が働いているので、夜ご飯を買えるお店がほしい。	
交通・道路について	18 件
通学定期の無料化や金銭的な補助をしてほしい。(5人)	
道路の補修。(3人)	
バスを増便してほしい。※奥池方面、涼風町方面 (2人)	
交通手段をもっと増やしてほしい。	
JR の芦屋駅新快速停車をずっと続けてほしい。	
開かずの踏切を高架にするなど、対策してほしい。	
駐輪場を増やしてほしい。	
JR 芦屋駅周辺で、お迎え車が安心して待機できる場所を増やしてほしい。	
きれいな芦屋市	14 件
綺麗なまち。(4人)	
景観のいいまち。(3人)	
どこに行ってもポイ捨てがない市になってほしい。(3人)	

ごみのないきれいなまち。(2人)	
上品で自然が美しいまち。お金持ちが多く洗練されたイメージが失われてほしくない。	
綺麗で高級感がある。	
数年前のように綺麗な芦屋川に手入れされている芦屋市。	
暮らしやすいが、道などが汚い所があったり、ポイ捨てをしている人を見つけたら良くないと誰もが伝えてほしい。	
現状維持、今の芦屋を継承する	11人
現状維持。今のままでよい。不満はない。(8人)	
私は風光明媚で昔からの雰囲気があって上品な芦屋が大好き。もっとみんなに来てもらいたいから芦屋の魅力を伝えたい！	
芦屋市には、古くから伝わってきたものや、山、海、川といった自然もある。便利になっていく芦屋市も大変魅力的だが、今まで続いてきた芦屋市固有のものがなくならないよう、受け継いでいく市となれば良い。	
新しいものばかりだと私たち世代の懐かしいがなくなってしまうから、しすぎないでほしい。	
学校や教育環境への要望	9件
いつでも勉強できる場所・自習室がほしい。(3人)	
校舎や施設を綺麗にテンション高く。	
自分も含めて見えるところだけでなく、どこからみてもカッコいい人、地域でありたい。学校では表向き車通学が禁止されているが、送迎車が路駐している。	
楠町は山手中学校が遠いので、校区の選択制や見直しをしてほしい。	
山手中学校に通っているが、こどもに優しい芦屋市になるため、具体的に三つのことに取り組んで欲しい。一つ目は夏の登下校時の扇風機の使用の許可。扇風機の使用が禁止されている具体的な理由を知りたい。二つ目は登下校時のアームカバーの使用の許可。日焼けは皮膚の病気の悪化につながるが、許可してもらえない。三つ目は集会のリモート化。夏の体育館はスペースが狭く、蒸し風呂状態。後方は映像や音声聞き取れない。教室でリモートで行えないか検討してほしい。	
高校にクーラーを付けるべき。	
給食が美味しい芦屋市。	
給食費が神戸市に比べて高い。	
公園・スポーツ施設等の充実	8件
もっと公園でスポーツができるようにしてほしい。(2人)	
こどもが遊びやすい公園がある。(2人)	
ブランコのある公園がもっとほしい。また、公園にカラスが多く、何か良い方法があれば良いと思う。	
バレーコートを自由に使える公園。	
私は高校で卓球をしている。体育館、練習する場所の拡充をしてもらいたい。	
釣りがしやすくしてほしい。	
若者が主導するまち	5件
若者が多く、若者が主導する市。(3人)	
未来の芦屋は今の中高生が作っていくことになる。これからの芦屋市について考える機会があればいいと思う。	
高齢者の方だけでなく、中高生も含め市民の声を届けやすい芦屋を作っていただきたい。	

自然が豊かな芦屋市	5件
緑の多いまちにしてほしい。(3人)	
自然の多いゆっくりできるような優しい場所。	
自然が豊かなところもあれば、比較的開発されているところもある芦屋が好きなので、現在開発が進んでいる場所(芦屋駅前など)はそのまま開発が進んで、自然あふれる地域は豊かな自然を守れたらいいと思う。	
その他	25件
若い世代が自立した時に戻りたいと思う芦屋。(4人)	
他の市から来た人にも住みたい、また来たいと思ってもらえる芦屋市。	
特定のコミュニティ内で住宅が取引されることなく、もっと生産年齢人口を含め様々な層の人が転入しやすいまち。	
電車から降りて立ち寄りたと思うまち。	
殺伐とした雰囲気ではなく、穏やかな空気が自然と漂って来るような雰囲気。	
自然と人が共存できる、とても平和な場所になってほしい。	
他の人の心配なく快適に暮らせる。	
みんなが思いやりのある言動をして、ストレスが少なく暮らせる場所になってほしい。	
中高生の遊ぶところが無い。しかしそれによって治安が保たれている部分があると思うので不満ではない。	
駅を中心に再開発してほしい、特に阪神芦屋や打出の周りは人口も多いし、変化してほしい。	
歩きスマホやイヤホンなどで周りが見えていない人ができる限り少ない、若い世代や子育て世代が多い、飲食店やスーパーなどが一点に集まることなく、まばらにある芦屋市になってほしい。	
茶屋之町桜通りに植わっているクチナシの香りがキツく、とても気分が悪くなります。撤去してほしいです。茶屋之町桜通りの桜の木のせいで見通しが悪く、信号も見えない。枝を切ってほしい。	
路上喫煙や夜中のうるさいバイクに厳しく取り締まることの出来るまち。	
教育熱心な芦屋市。	
教育方面について、「思考の時間」を「研究の時間」に変える。考えることや調べることに意欲を持ち、それを社会に役立てることのできることもたちを輩出する。	
こどもの教育費を安くしてほしい。対策をきちんとしてほしい。	

---

## IV アンケート調査票

---

# アンケート依頼はがき

郵便はがき

芦屋局  
料金後納  
郵便

このはがきは中高生世代を対象にしたアンケートです。  
芦屋市内の中学2年生と高校2年生相当の方  
全員を対象にお送りしています。  
ご不明点がございましたら、下記までご連絡ください。

中高生世代向け



回答フォームURL 芦屋市の地域に関するアンケート  
<https://form.qooker.jp/Q/sp/ja/ashiyashistudent/202507>  
芦屋市 こども福祉部 福祉室 地域福祉課  
〒659-8501 芦屋市精道町7番6号  
お問い合わせ先 ☎ 0797-38-2153 FAX 0797-38-2160

中高生世代向け

## アンケートご協力をお願い

芦屋市では、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めるため、「地域福祉計画」という計画をつくっています。その中で、中学生や高校生世代のみなさんの声も大切にしたいと考え、今回のアンケートを実施することにしました。

普段の地域との関わり方や、住んでいるまちについて感じていること、こうなったらいいなと思うことなどを、自由に教えてください。



あなたの声は、これからの  
芦屋市をより良くするヒントになります。  
ぜひ、率直なご意見をお聞かせください。  
ご協力、どうぞよろしく申し上げます。



スマホ・タブレットで簡単回答!



締切 9月25日(木)まで



W35mm × H12mm  
IDバースタンドシール 貼付部分

所要時間 5分程度

※名前や住所などの記入はなく、個人が特定されることはありません。

## 芦屋市の地域に関するアンケート項目

(中学2年生・高校2年生相当の方向け)

問1 あなたが住んでいる町を教えてください。

\_\_\_\_\_ 町

問2 あなたの性別は、以下のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1. 男性           | 2. 女性    |
| 3. 1・2 に当てはまらない | 4. 回答しない |

問3 あなたは、以下のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1. 中学生 | 2. 高校生 | 3. その他 |
|--------|--------|--------|

問4 ふだん、近所の大人とどれくらい接していますか。(○は1つだけ)

- |                        |
|------------------------|
| 1. 困ったときは、助けてもらえる人がいる  |
| 2. 顔を合わせたときに話をする人がいる   |
| 3. 顔を合わせれば、あいさつをする人がいる |
| 4. 顔は知っているが、声をかけたことがない |
| 5. ほとんど顔も知らない          |
| 6. その他 ( )             |

問5 どのような地域の活動に参加したことがありますか。(○はいくつでも)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 学校の近くや通学路、公園などのごみ拾いやそうじ |
| 2. 地震や火事などのひなん訓練 (防災訓練など)  |
| 3. 地域で行われるお祭りやイベント         |
| 4. 地域の運動会やスポーツの大会          |
| 5. 参加したことはない               |
| 6. その他 ( )                 |

問6 問5で「5. 参加したことはない」以外を選んだ方におたずねします。  
地域の活動に参加したきっかけはなんですか。(○はいくつでも)

- |                    |
|--------------------|
| 1. 家族・友達などから誘われた   |
| 2. 学校からお知らせがあった    |
| 3. 地域の掲示板などで知った    |
| 4. インターネットやSNSで知った |
| 5. その他 ( )         |

問7 あなたや周りの友達が地域の活動に興味や関心を持つために必要なことは何だと思えますか。  
あなたの意見やアイデアがあれば教えて下さい。

問8 住んでいる地域について、あなたの感じていることを教えてください。  
(それぞれの項目について1つだけ○)

項目	とても そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない
(1)住民同士の仲が良く、 お互いによく知っている	1	2	3	4	5
(2)親切な人が多い	1	2	3	4	5
(3)参加したい地域の活動 や行事がある	1	2	3	4	5
(4)高齢者や障がいのある 人が暮らしやすい	1	2	3	4	5
(5)子ども(自分たち)が暮 らしやすい	1	2	3	4	5

問9 あなたはどんな戸屋市になってほしいと思えますか。あなたの思いやアイデアを教えてください。

アンケートは以上です。ご回答いただき、ありがとうございました。